

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内) 電話03 (3563) 6744 URL:http://www.doukenroukyou.com

＜第28回定期大会報告＞

2013年7月16日(火)に日暮里のホテルラングウッドにて第28回定期大会が開催されました。今大会での代議員の人数は、加入組合毎の規程人数と地方協議会議長の4名を合計した総数33名であり、本大会代議員29名の出席により大会の成立が確認されました。

冒頭、山下議長は『私たち道路建設産業における新卒者の採用状況が厳しいことに触れ、インフラ整備などに従事できるなど、素晴らしい産業であるにも関わらず、土曜、祭日の休日出勤が当たり前の産業では残念ながら今の若者には魅力が薄れてきているのも事実である。依然として改善しない長時間労働の問題を労使一体となって改善に努めるためにも、我々組合員一人ひとりが今までの常識に対する考えを改め、業務にメリハリを付け、本気で休むための取組みを進めていくことが大切である。そして、使用者側の団体である、道建協・日合協が人材確保の観点から労働環境の改善を行うとして、事業場の閉所や休日取得の方針を示した今は本当にそのチャンスがきていると思う。だからこそ、労使一体となって業界全体で道路建設産業の魅力向上に努めていかなければならない』と挨拶しました。

来賓は、日建協(山田議長)・建設連合(棚橋副中央執行委員長)・長谷工グループ労働組合(梅田中央執行委員長)・全電工労連(川村事務局長)・通建連合(藤井議長)が出席され、日建協の山田議長より祝辞を頂きました。

その後、議事に従い2012年度経過報告・規約付属規定の改定・2013年度運動方針(案)・2013年度予算(案)が各担当役員より説明があり、全ての議事が満場一致で承認されました。

役員選挙では、中央執行委員の有木秀龍氏(NIPPO労組)・会計監事の和久康郎氏(大成ロテック社組)が退任し、新会計監事には安威堅志郎氏(大成ロテック社組)が就任しました。

退任された有木中央執行委員並びに和久会計監事におかれましては、長年の道建労協での活動、大変お疲れ様でした。



2013年度の取り組み

2013年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年度を振り返ってみますと、日本経済は歴史的な円高、長期化するデフレなどにより不透明感が強く、厳しい経済情勢でしたが、昨年末の政権交代以降、円安・株高が進行し、輸出産業を中心に業績回復基調が見られるようになり、实体经济の回復に期待感が高まっています。国内建設投資は復興予算も含め政府建設投資の増加が大きく影響し、2年連続の増加に転じています。被災地域においては本格復興には長い時間を要しますが、社会インフラ構築の一端を担う者として、引き続き復興に向けた取り組みに産業を上げて手を携えながら進めていくことが必要であると考えます。

このような社会情勢の中、私たち道建労協は組合員の代表組織として「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」を目指して、今年度も引き続き労働問題の改善に取り組んでいきます。しかし、「一人あたりの業務量の多さ」等の問題が拡大し、組合員の時短や休日取得は思うように進まず、我々が提唱する「ワーク・ライフ・バランス」は順調には浸透していない状況です。私たち道建労協はこの問題に警鐘を鳴らし、道路建設産業の魅力化に向けた労働環境の改善への取り組みを提案し、各単組の労使間で個々に解決の糸口を見つけるよう活動をしてきました。昨年9月には日本道路建設業協会から人材確保の観点から産業の魅力化に向け、労働環境の改善に向けた取組みが発信されました。具体的な取り組みとしては、毎日曜日と毎月第2土曜日の事業所の閉所です。日本アスファルト合材協会も毎月計画的な連休を確保することが発信されました。使用者側の業界団体からの相次ぐ労働環境の改善に向けた取組み強化の動きは、我々にとっても大きな一歩であり、業界全体の取組みとして労使一体となって前進させる大きなチャンスであると捉えています。我々も産業の魅力化に向け、組合員の心の中にある時短や休日勤務に対する「慣れ」や「諦め」に対して訴え、メリハリのある職場環境を構築することで克服していかなければならないと考えています。

2013年度の主な活動方針は 1.「組織活動」2.「産業政策活動」3.「教宣活動」の3項目とし、1つ目の「組織活動」では、賃金及び労働条件の改善など、各単組の内情を検証し、引上げを目指す活動を行います。2つ目の産業政策活動では、関係団体との交流や友好組織との連携に取り組むとともに、「土曜閉所推進運動」を実施し、11月、6月を強調月間及び第2土曜日を統一閉所日として、ねばり強く展開していきます。3つ目の「教宣活動」ではホームページの更なる充実を目指し、組合員の「ワーク・ライフ・バランス」に対して背中を後押しする情報を発信していきたいと考えております。今年度も土曜閉所強調月間等の時期に併せて『休日フォトコンテスト』を開催し、加盟単組組合員の皆さんが気軽に参加できる企画となるよう取り組みます。

現在、私達が抱えている問題は、労働時間、休日取得を始めとして数多くありますが、各単組間の情報交換を積極的に行い、道建労協を各単組と組合員の皆さんにとってより価値のある組織にしていきたいと考えておりますので、皆様方より一層のご理解とご協力のほどをよろしくお願い致します。(議長 山下 剛)

「70年先も」

皆さん「せんとくん」

はご存知でしょうか？

2010年(平成22年)

に開催された、奈良・

平城遷都1300年祭

のマスケットキャラク

ターで、2011年か

らも奈良県のマスコッ

トキャラクターとして

活躍中です。この「せ

んとくん」発表された

ときはかなり不評で、

そのため他の市民団体

からは「まんとかん」

などのキャラクターも

生み出されました。し

かしのゴタゴタの報

道のおかげで「せんと

くん」の知名度は一気

に高まり、今では奈良

には欠かせない存在と

なりました。

12月の総会でプレス

発表予定の「建設産

業マスケットキャラク

ター大募集」これで選

ばれるキャラがいずれ

建設業界には欠かせな

い存在に成長しますよ

う。

前田道路労働組合

服部 栄三



第28回労使セミナー

2013年1月17日、ホテルラングウッドにおいて第28回労使セミナーが開催されました。当日は道建労協加盟単組や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務委員会を中心とした各企業の総務・人事部門の皆様をお招きし、講師に人と組織のマネジメント研究所 株式会社道（タオ）の代表取締役を務めていらっしゃる河合太介先生をお迎えして『「ニワトリを殺すな」～本田宗一郎に学ぶ社員を活かすマネジメント～』と題し、講演していただきました。

講演内容は、始めに今の時代、なぜ「社員を活かすマネジメント」が改めて重要なかということで、今の時代はめまぐるしいスピードで変化をしている。例えば、・中国人が世界で一番英語を話すように間もなくなる。・ネットがない時代は調べたい時に何を使ってたか。・一年前に欲しいと思ったもので今でも欲しいものがあるのか。・今がピークではなく過程であり、まだまだ変わっていく。常に変化している。このような時代の中で勝つためのカギは何かというと、それは組織力の方程式であり、「組織力＝個人の力×個人間のつながり力」だということです。この方程式を成立させるには本田宗一郎氏が行っていたことから学ぶ社員を活かす以下の4つのマネジメントが有効であるとのことでした。

1. 「不常識に考える」固定観念・常識にとらわれない発想が必要である。本田宗一郎氏は車の開発責任者にこう言ったそうです。車を運転する人は車のボディ（前部）見るのではなく、後部を見て運転をしている。後部が美しい車がかっこいい、後部のデザインが重要である。このような発想が不常識です。不常識発想の能力を磨く3つの方法は①変なプライドは捨て、色々な所から素直に学ぶ。②「いつもと違う人」と会話、交流する。③学ぶもの得るものは何でもいから常に自分を「バージョンアップ」し続ける。
2. 「ニワトリを殺すな」ニワトリの習性では、群れの中で弱って傷ついているニワトリを周りのニワトリが殺してしまうそうである。これを人間社会に置き換えると、何らかの失敗をして弱っている者が責められる→出来ていないことばかり責められる→もうやりたくないという思いになる→今行っていることしなくなる→長時間労働・成長性が失われるというようになる。この様な負の連鎖に陥らないためにも、弱っている人間・失敗した人間を潰してはならない。
3. 「感謝」効力感を与えるには、やって当たり前の感覚を持たない。「お疲れ様・ありがとう」という言葉が必要であり、感謝の言葉がなくなれば繋がりが弱くなっていく。サポートしてくれている人達に感謝をしなければならない。感謝された社員は、もっといい仕事をしてやろうという気持ちが芽生える。
4. 「認知～得手に帆をあげて～」長所を認めて褒めてあげる。小さな成果でも長所で成果が上がれば褒める。褒める時は相手の目線に立つ。元気な職場に共通することは特定の人間だけ褒められるのではなく、皆がヒーローとなっている。

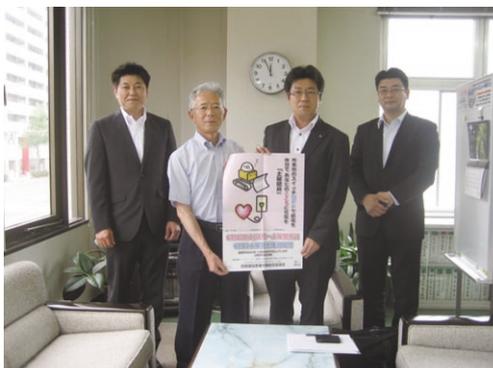
最後に本田宗一郎氏の名言をいくつか挙げられました。その中の1つに「嫌なことは自分から進んで行く」というものがありました。中々、簡単にできることではありませんが、個人々が実践することで組織力が高まっていくのではないのでしょうか。



北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2013年6月13日と14日の北陸・東北地区の交流会と併せて各地区関係団体と加盟単組企業の訪問を行いました。13日は道建協北陸支部及び北陸地区アスファルト合材協会連絡協議会、北陸地区に拠点を持つ4社へ訪問、協会では渡辺事務局長、企業では大林道路(株)栗原北信越支店長、(株)NIPPO赤池執行役員北信越支店長、前田道路(株)佐々木北陸支店長と面会し、北陸地区の現状と休日取得推進について意見交換しました。翌14日も同様に関係団体と企業訪問を行い、道建協東北支部畠山事務局長様、日合協東北連合会加藤事務局長様、大成口テック(株)東北支社星野工事部長様、吉川管理部長様、(株)NIPPO東北支店松澤執行役員支店長様、フジタ道路(株)東北支店荒木工事部長様、前田道路(株)東北支店大西執行役員支店長様、三井住建道路(株)東北支店鬼丸副支店長様他、各社責任者の皆様と面会しました。日合協東北連合会においては連続休暇取得促進に取組むことを取引先に向け専門紙へ広告を出していました。三井住建道路の自信に満ちた取組み具合や、前田道路の支店長号令の下、第2土曜日休日取得の事前予定と代替休日予定、結果報告の義務付ける取組みなど、会社全体で取組んでいる姿勢はとて評価できます。あとは現場サイドがどう応えるのか、そうするにはどのようにしなければいけないかを会社と話し合うことです。今が改善に向けて努力する時です。愚痴は意見にしましょう。そして会社と話し合いましょう！

(北陸地区)



【道建協北陸支部・北陸地区アスファルト合材協会連絡協議会】

(東北地区)



【道建協東北支部・日合協東北連合会】

スケジュール

第28回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。内容については前年とほぼ同じですが、活動の経緯、報告については随時ホームページや機関紙などで紹介致します。

2013年度道建労協年間スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
各種会議	三役会	中執		三役会	中執		三役会	中執	三役会	三役会	中執会	
大会・企業訪問	単組大会	単組大会	単組大会 企業訪問	単組大会								定期大会 単組大会
研修会・セミナー						労使 セミナー						単組支援 セミナー
地協活動			地域交流会								地域交流会	地協 代表者
春闘への取組			年齢構成 調査	(調査時報)			基本方針	情報交換	情報交換	情報交換		
産 労 懇		運営委員会 土開共同プレス			総会/ セミナー		運営委員会			運営委員会 土開共同プレス		運営委員会
機 関 紙		86号			番外編	87号						番外編
ポ ス タ ー				土曜閉所							土曜閉所	
ア ン ケ ー ト					土曜閉所							土曜閉所
関連団体訪問 その他	道建協 日合協 意見交換会		道建協 日合協 日合協(地方)			道建協 日合協				道建協 日合協	日合協 (地方)	

第28回単組支援セミナー

第28回定期大会閉会后、単組支援セミナーを開催いたしました。講師はここ数年このセミナーでお世話になっている(株)笑工房の代表である小林康二氏で、講演タイトルは「笑いと今日の社会と組合」として約1時間お話いただきました。小林氏は30年の組合活動から50歳半ばを過ぎてから笑工房を立ち上げました。誰かをいじめたり辱めてとる笑いではなくチャップリンや寅さんシリーズのような心からの笑いを真の笑いとして位置付け、労働者や弱者を励ます笑いを届けています。今回は「労働組合法」の基本を中心に、連合通信社からの企画で自ら著書・編集に携わった「活かそう労働組合法 すぐに役立つ組合活動の手引き」の内容を面白おかしく伝えて下さいました。

また、過労死により残された家族の辛さを目の当たりにした経験から「過労死防止基本法の制定を求める請願書」を集めているとのこと、各単組に協力をお願いしているところです。



地協のない地域の交流会

地協のない地域の交流会

東北地協



2013年6月14日（木）仙台ガーデンパレスにて東北地区の地域交流会が開催されました。

東北地区は東日本大震災の復興需要に押され、各単組においても繁忙が続いている状態です。その中で労働環境改善に向けて、土曜閉所強調月間の取り組み、日々の時短・休日取得問題、人員配置（若年層、年齢構成等）、人材確保について意見交換を行いました。

各単組から出る貴重な意見は、大変参考となりました。そして、それぞれカラーは違えども、皆が目指すところは同じであることを再認識しました。

今後、道路建設産業を魅力ある業界とするため、互いに切磋琢磨することが将来へ繋がることを確信しました。

会議終了後の懇親会では、お酒を飲み交わしながら交流を深めることができ、近いうちに再度交流会を開催することを誓い閉会となりました。これからも東北地区の社会資本整備は継続していきます。各単組のみなさままで働きがいのある職場環境をつくっていきましょう。

大成ロテック社員組合 東北支部 守威 堅志郎



北陸地区

北陸地区交流会開催

2013年6月13日（木）、新潟駅前のカルチャーセンターにおいて、昨年度に引き続き、『北陸地区交流会』が開催されました。



交流会では労働環境改善に向け、各単組の抱える問題点や改善に向けた活動について意見交換を行いました。中でも、第2土曜日を「統一閉所日」として意識啓蒙を図っている土曜閉所運動や休日取得の問題などについて、

各単組の現状や取得率アップに向けての取り組みを聞くことができ、具体的な問題解決に繋がるような貴重な意見もありました。

また、若手社員の配置が慢性的に不足しており、人材確保のため、業界としてモーク・ライフ・バランスの実現と産業の魅力化を目指すことを確認しました。

今後、道路業界を取巻く環境はますます厳しくなると予見されますが、業界の活性化に向けて更なる活動が必要であると感じました。

会議終了後の懇親会では、各単組の方々との交流を深めることができ、全体を通して有意義な交流会となりました。

NIPPO労働組合 柴田 俊直



ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！皆さん、奮ってアクセスして下さい！

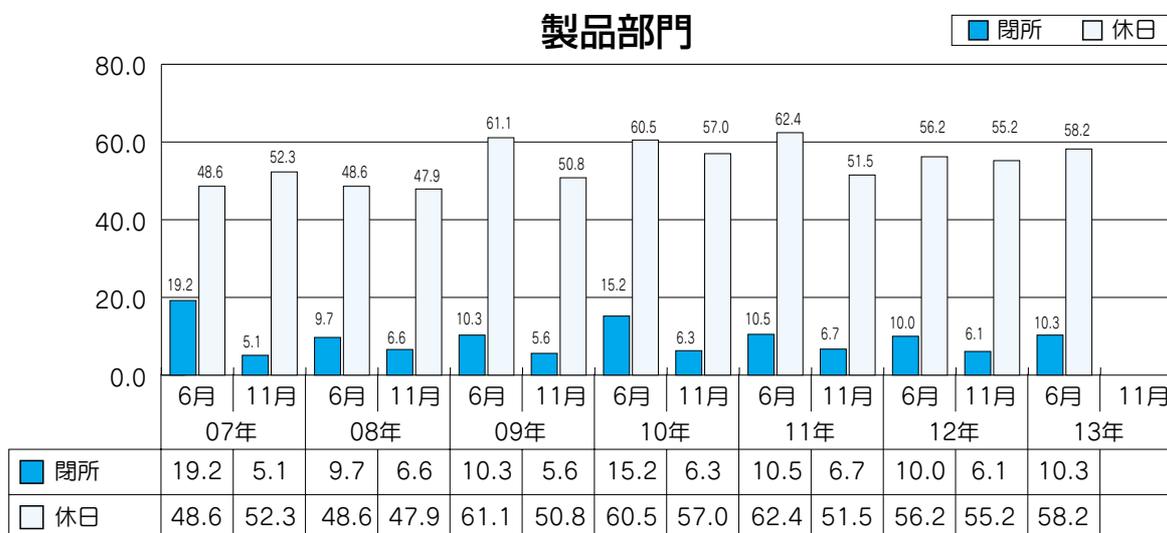
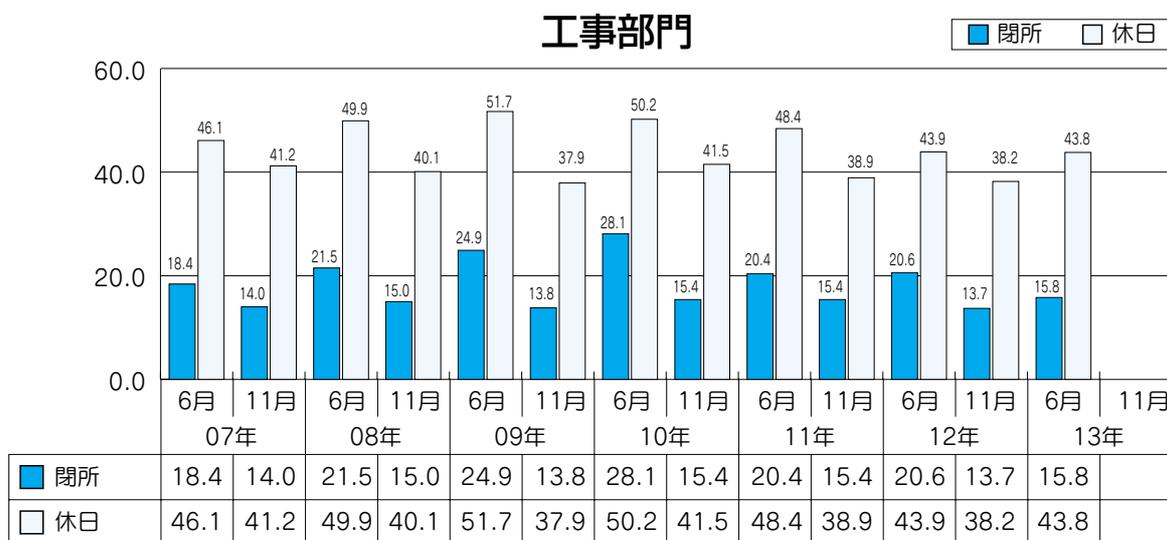
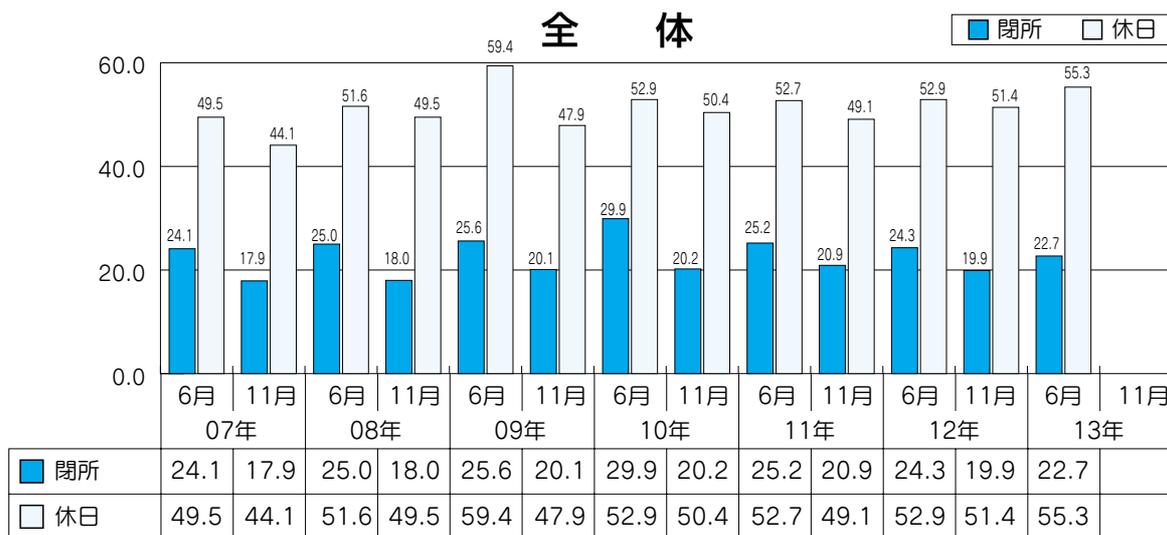
<http://www.doukenroukyou.com>

検索



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2013年6月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途「PAVE番外編」を発行いたします。





新年度 役員紹介

2013年7月16日開催の第28回
定期大会で下記の方々が新役員とな
りました。



山下 剛
議長
(NIPPO労働組合)



高島 力
副議長
(大林道路職員組合)



矢嶋 宇之
副議長
(大成ロテック社員組合)



服部 栄三
事務局長
(前田道路労働組合)



杉原 慶太
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



神田 知典
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



静 正人
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



奥野 尚平
会計監事
(大林道路職員組合)



安威 堅志郎
会計監事
(大成ロテック社員組合)



退任役員紹介

第28回定期大会をもちまして、下記の方々が退任されまし
た。

今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。



有木 秀龍
(NIPPO労働組合)
任期：平成22年度～平成24年度
役職：中央執行委員



和久 康郎
(大成ロテック社員組合)
任期：平成22年度～平成24年度
役職：副議長(2期)・会計監事(1期)



物知りクイズ

皆さん、今年の夏は猛暑が続き体の疲れもなかなか抜けていないのではないのでしょうか。そんな時には、美味しいものを食べたり旅行をして、こころと体をリフレッシュすることが1番です。季節も夏から秋に変わりました。「行楽の秋・食欲の秋」を満喫してみませんか。

というわけで、今回は「観光や秋の味覚」をテーマに出題します。

Q1 まずは、皆さんもすぐ分かる簡単な問題です。

日本三景の美しい風景を眺めて癒されたいですね。いずれもすばらしい景勝地ですが、日本三景ではない場所はどこでしょうか。

- ① 天橋立 ② 三保の松原 ③ 宮島 ④ 松島

Q2 日本各地に世界遺産に登録された場所や建造物がありますが、下記の中で1番早く世界遺産に登録されたのはどこでしょうか。

- ① 厳島神社（宮島） ② 知床 ③ 姫路城 ④ 原爆ドーム

Q3 またまた世界遺産にちなんだ問題です。7月に世界遺産に登録された、わが国最高峰の「富士山」ですが、「富士山」の山頂は誰のものでしょうか。

- ① 静岡県 ② 山梨県 ③ 財務省 ④ 神社
⑤ 誰のものでもない



Q4 「秋の味覚」といえば、皆さん何を想像するでしょうか。サンマ・松茸・栗・梨・秋限定のビールなど色々ありますね。それでは問題です。

秋の味覚の代表格「サンマ」の一世帯あたり消費量が1番多い都道府県はどこでしょうか。

- ① 北海道 ② 千葉県 ③ 新潟県 ④ 青森県



第85号クイズ当選者

答え Q1：③ Q2：③ Q3：④ Q4：②

正解者

藤井 誉伸さん（大林道路職員組合）
久安 真樹さん（前田道路労働組合）

瀬戸 麻子さん（前田道路労働組合）
松尾 明宏さん（前田道路労働組合）

○組合員からのご意見

- ・毎回ためになる情報をありがとうございます。これからも楽しみにしています。
- ・写真が多く興味が湧いた

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 10/31（木）
- 宛先 〒141-8665
東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051
E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は1月発行の予定です。

編集後記

2020年、東京でのオリンピック開催が決定しました。日本中お祝いムードの中、私たち道路建設産業各社の株価も軒並み上昇し、国土交通省も来年度予算の概算要求に経年劣化した首都高速道路の更新や修繕の財源を確保する制度の創設を盛り込むなど、業界にとっては、活性剤的なニュースでした。

前回の東京五輪（1964年）に合わせて急ピッチで建設された首都高速ですが、昨今その老朽化が指摘されることが多くなりました。「コンクリートの寿命は50年」といいますが、まさにそろそろ寿命を迎える感があります。個人的には、五輪開催を契機に、原資の問題もありますが、小手先の修繕より大規模な更新を行った方がいいのではと思います。

ただ五輪に意気込みすぎて、被災地の復興が遅れてはいけません。また昨年末の中央道の落板事故のようなことが二度となないように、早急に私たちが携わるべきインフラ整備・補修は多く存在し、真摯に向き合うことが重要になってきます。

2020年、自分の体もリフォームして五輪を楽しみに待ちたいと思います。

三井住建道路労働組合 静 正人